



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和7年度

情報化施工技術調査

BIM/CIM活用ガイドライン(案)(ポンプ場編)3次元モデル作成等業務

# 積 算 書

(当初)

九州農政局  
土地改良技術事務所



















事業名	情報化施工技術調査					
業務名	BIM/CIM活用ガイドライン(案)(ポンプ場編)3次元モデル作成等業務					
業務別業務名:BIM/CIM活用ガイドライン(案)(ポンプ場編)3次元モデル作成等業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S63003	1. 準備作業		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04003	主任技師		1.000	人	66,900	66,900
R04004	技師(A)		2.000	人	59,600	119,200
R04005	技師(B)		3.000	人	48,500	145,500
R04006	技師(C)		2.000	人	40,300	80,600
R04007	技術員		1.000	人	36,100	36,100
	合計					算出数量 1.000 式
	単価			式		448,300
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	2. 2次元データを3次元モデルへ変換		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	5.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	15.00人				
	5)技師Bの人数	40.00人				
	6)技師Cの人数	40.00人				
	7)技術員の人数	30.00人				
R04003	主任技師		5.000	人	66,900	334,500
R04004	技師(A)		15.000	人	59,600	894,000
R04005	技師(B)		40.000	人	48,500	1,940,000
R04006	技師(C)		40.000	人	40,300	1,612,000
R04007	技術員		30.000	人	36,100	1,083,000
	合計					算出数量 1.000 式
	単価			式		5,863,500
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	3. 3次元モデルの作成(レイヤの設定)		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.50人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師		0.500	人	66,900	33,450
R04004	技師(A)		1.000	人	59,600	59,600
R04005	技師(B)		1.500	人	48,500	72,750
R04006	技師(C)		2.000	人	40,300	80,600
R04007	技術員		2.000	人	36,100	72,200
	合計					算出数量 1.000 式
	単価					318,600

事業名	情報化施工技術調査					
業務名	BIM/CIM活用ガイドライン(案)(ポンプ場編)3次元モデル作成等業務					
業務別業務名:BIM/CIM活用ガイドライン(案)(ポンプ場編)3次元モデル作成等業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		318,600	
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	4. 3次元モデルへの属性情報の設定 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬季補正:なし
	3)主任技師の人数	0.50人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	4)技師Aの人数	1.50人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	5)技師Bの人数	2.00人				深夜時間:0.0
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の数	6.00人				
R04003	主任技師		0.500	人	66,900	33,450
R04004	技師(A)		1.500	人	59,600	89,400
R04005	技師(B)		2.000	人	48,500	97,000
R04006	技師(C)		3.000	人	40,300	120,900
R04007	技術員		6.000	人	36,100	216,600
	合 計					算出数量 1,000 式
	単 価			式		557,350
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	5. 3次元モデルの試行 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬季補正:なし
	3)主任技師の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	4)技師Aの人数	1.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	5)技師Bの人数	1.50人				深夜時間:0.0
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の数	1.50人				
R04004	技師(A)		1.000	人	59,600	59,600
R04005	技師(B)		1.500	人	48,500	72,750
R04006	技師(C)		2.000	人	40,300	80,600
R04007	技術員		1.500	人	36,100	54,150
	合 計					算出数量 1,000 式
	単 価			式		267,100
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	6. BIM/CIM活用ガイドライン(案)改定内容の検討 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬季補正:なし
	3)主任技師の人数	1.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	4)技師Aの人数	2.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	5)技師Bの人数	2.00人				深夜時間:0.0
	6)技師Cの人数	1.50人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師		1.000	人	66,900	66,900
R04004	技師(A)		2.000	人	59,600	119,200
R04005	技師(B)		2.000	人	48,500	97,000
R04006	技師(C)		1.500	人	40,300	60,450
	合 計					算出数量 1,000 式
	単 価			式		343,550

事業名	情報化施工技術調査					
業務名	BIM/CIM活用ガイドライン(案)(ポンプ場編)3次元モデル作成等業務					
業務別業務名: BIM/CIM活用ガイドライン(案)(ポンプ場編)3次元モデル作成等業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		343,550	
	*** S単 - 7号 ***					
S63003	7.点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の人数	0.00人 0.00人 0.50人 1.00人 2.00人 1.00人 0.50人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員	0.500	人	36,100	18,050	
	合 計				248,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		248,400	
	*** S単 - 8号 ***					
S63010	打合せ(初回・最終) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着事前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	1)設計工種 2)打合せ 3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	一般工種 着事前・最終 1.00人 1.00人 0.00人 0.00人 0.500日 0.500日		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
	合 計				126,500	算出数量 1.000 回
	単 価		回		126,500	
	*** S単 - 9号 ***					
S63010	打合せ(中間) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	1)設計工種 2)打合せ 3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	一般工種 中間 0.00人 1.00人 1.00人 0.00人 0.500日 0.500日		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	1.000	人	48,500	48,500	
	合 計				108,100	算出数量 1.000 回
	単 価		回		108,100	
	*** S単 - 10号 ***					

事業名	情報化施工技術調査					
業務名	BIM/CIM活用ガイドライン(案)(ポンプ場編)3次元モデル作成等業務					
業務別業務名:BIM/CIM活用ガイドライン(案)(ポンプ場編)3次元モデル作成等業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着事前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0		制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種・解析等調査業務 着事前・最終		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	一般交通機関				
	11)高速道路往復料金(税別)	0円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	2,045円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	0日				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54307	バス料金 消費税抜き	2,000	人	2,045	4,090	
	合計				4,090	算出数量 1,000回
	単価		回		4,090	
	*** S単 - 11号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0		制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種・解析等調査業務 中間		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	一般交通機関				
	11)高速道路往復料金(税別)	0円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	4,090円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	0日				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54307	バス料金 消費税抜き	2,000	人	4,090	8,180	
	合計				8,180	算出数量 1,000回
	単価		回		8,180	
	*** S単 - 12号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1,000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4, 300, 3cm, 0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0		制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)報告書部数(部)	1,000				
	2)規格区分	A - 4				
	3)枚数区分(枚)	300		深夜時間:0.0		
	4)厚さ区分	3cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43446	報告書焼付代(コピー)	1,000	部	4,050	4,050	
	A - 4以下 300枚					
P43541	簡易加除式ファイル	1,000	冊	525	525	
	A 4縦型幅3cm(チューブ・パイプファイル)					
P43602	CD-R	0.000	枚	47	0	
	CD-R(記録面色素フタロシアニン)700MB					
	合計				4,575	算出数量 1,000式



令和7年度情報化施工技術調査  
BIM/CIM活用ガイドライン(案)(ポンプ場編)3次元モデル作成等業務

特 別 仕 様 書

九州農政局  
土地改良技術事務所

## 第1章 総 則

(適用範囲)

### 第1-1条

本業務の実施にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

### 第1-2条

本業務は、BIM/CIM活用ガイドライン(案)(ポンプ場編)に基づき、本ガイドラインの実用性の検証を行うため、宇城農地整備事業で実施設計済みの五丁川排水機場の設計データ(2次元データ)を用いて、3次元モデルの作成を行うものである。

(場 所)

### 第1-3条

本業務において対象とする施設の場所は、熊本県宇城市松橋町御船地内で、別途、位置図に示すとおりである。

(一般事項)

### 第1-4条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めた場合は、速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

### 第1-5条

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業-農業土木 農業-農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	農学	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(担当技術者)

### 第1-6条

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1-7条

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

(1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。

なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

(2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1-8条

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

(適用する図書)

第2-1条

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書を優先して適用する。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名称	発行所	制定年月	備考
1	国営土地改良事業等におけるBIM/CIM活用ガイドライン(案)第5編 ポンプ場編	農林水産省	令和7年4月	農林水産省ホームページ

(参考図書)

第2-2条

本業務の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	名称	発行所	制定(改訂)年月	備考
1	土地改良事業計画設計基準・設計「ポンプ場」	農林水産省 農村振興局	平成30年5月	農林水産省ホームページ
2	農業水利施設の機能保全の手引き「ポンプ場(ポンプ設備)」	農林水産省 農村振興局	平成25年4月	農林水産省ホームページ
3	国営土地改良事業等におけるBIM/CIM活用ガイドライン(案)第1編 共通編	農林水産省	令和5年3月	農林水産省ホームページ
4	BIM/CIM活用ガイドライン(案)第1編 共通編	国土交通省	令和4年3月	国土交通省ホームページ
5	BIM/CIM活用ガイドライン(案)第6編 機械設備編	国土交通省	令和4年3月	国土交通省ホームページ
6	BIM/CIM活用ガイドライン(案)第7編 下水道編	国土交通省	令和4年3月	国土交通省ホームページ

7	官庁営繕事業におけるBIM活用ガイドライン	国土交通省	令和5年3月	国土交通省 ホームページ
8	国営土地改良事業等におけるBIM/CIM活用ガイドライン(案) 第4編 頭首工編	農林水産省	令和6年4月	農林水産省 ホームページ
9	農業水利施設の機能保全の手引き	(一社) 農業土木事業協会	平成27年5月他	農林水産省 ホームページ
10	農業水利施設の長寿命化のための手引き	農林水産省 農村振興局	平成27年11月	農林水産省 ホームページ
11	発注者におけるBIM/CIM実施要領	国土交通省	令和4年3月	国土交通省 ホームページ
12	3次元モデル成果物作成要領(案)	国土交通省	令和4年3月	国土交通省 ホームページ

(貸与資料等)

第2-3条

貸与資料は、次のとおりである。

分類	名称	数量	備考
その他	令和5年度 情報化施工技術調査 国営土地改良事業等におけるBIM/CIM活用ガイドライン (ポンプ場編) 検討業務	1式	
	令和6年度 情報化施工技術調査 国営土地改良事業等におけるBIM/CIM活用ガイドライン (ポンプ場編) 検討業務	1式	
	令和2年度 宇城農地整備事業 五丁川第2排水機場実施設計業務	1式	
	令和6年度 宇城農地整備事業 五丁川第2排水機場施設機械実施設計業務	1式	

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-4条

第2-2条、第2-3条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、または解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、作業時点の最新版を用い、作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

(関連する工事)

第2-5条

本業務の成果を提供する工事は以下のとおりである

- (1) 宇城農地整備事業 五丁川第2排水機場建設工事(仮称) R7.8月発注予定
- (2) 宇城農地整備事業 五丁川第2排水機場ポンプ製作据付建設工事(仮称) R7.11月発注予定

(BIM/CIMモデル作成の機器類)

第2-6条

3次元モデルを作成する機器類は、受注者で調達するものとする。

また、受注者は発注者が用意する機器に3次元モデルをインストールし、発注者に対して操作説明を行うものとする。

なお、発注者側の機器にインストールされているソフトウェアは下表のとおりである。

項目	仕様	備考
3次元データソフトウェア	AutoDesk AEC コレクション <b>【ソフト内訳】</b> Civil3D 点群データの閲覧・TIN への変換 線形モデル・地形モデルの閲覧・ 計測・編集 Revit 構造物モデルの閲覧・計測・編集 Infraworks 構造物モデル・統合モデルの閲覧・ 計測・編集 Navisworks 4D シミュレーションによる施工検 討統合モデルの閲覧・計測・編集	

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙1「作業項目内訳表」に○印で示すものとする。

2次元データを3次元モデルへ変換作業開始前に、変換が必要な図面枚数については、監督職員に報告するものとする。

作業項目	数量	備考
1. 準備作業	1式	貸与資料により、3次元モデル作成に必要な内容について確認・整理する。
2. 2次元データを3次元モデルへ変換 (CADデータ al=Nil CAD)	1式	宇城農地整備事業 五丁川第2排水機場建設工事(仮称)及び宇城農地整備事業 五丁川第2排水機場ポンプ製作据付建設工事(仮称)の図面データ(CADデータ)を貸与 <b>【排水機場関係】</b> 図面枚数 59枚 内訳：土木 27枚 樋門 15枚 建築 17枚 <b>【ポンプ類関係】</b> 図面枚数 25枚
3. 3次元モデルの作成(レイヤの設定)	1式	工事に必要なレイヤを設定するものとする。
4. 3次元モデルへの属性情報の設定	1式	レイヤの設定に基づき属性情報を掲載可能なように設定する。

5. 3次元モデルの試行	1式	3次元モデルデータを発注者が用意する機器にインストールを行うとともに稼働確認を行う。
6. 国営土地改良事業等におけるBIM/CIM活用ガイドライン（案）第5編 ポンプ場編の改定内容の検討	1式	工事の受注業者者の意見を参考に「国営土地改良事業等におけるBIM/CIM活用ガイドライン（案）第5編 ポンプ場編」の改定内容を検討する。
7. 点検とりまとめ	1式	成果資料の点検、とりまとめを行い、報告書を作成する。

(作業の留意点)

#### 第3-2条

本業務の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、設計手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-2条、第2-3条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。

## 第4章 打合せ等

(打合せ)

#### 第4-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。  
また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（作業項目3. 4の検討段階）

第3回 中間打合せ（作業項目5 五丁川第2排水機場建設工事（仮称））

第4回 中間打合せ（作業項目5 五丁川第2排水機場ポンプ製作据付建設工事（仮称））

最終回 報告書原稿作成段階（作業項目6を含む）

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

## 第5章 成果物

(成果物)

#### 第5-1条

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R） 正副2部
- (2) 成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(成果物の提出先)

#### 第5-2条

成果物の提出先は次のとおりとする。

熊本県熊本市東区東町4丁目5-7  
九州農政局土地改良技術事務所

## 第6章 契約変更

(契約変更)

### 第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- (2) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (3) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (4) 履行期間の変更が生じた場合
- (5) 関係機関等対外的協議等により作業計画等に変更が生じた場合
- (6) その他

## 第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

### 第7-1条

この特別仕様書(案)に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙1 「作業項目内訳表」

作業項目	作業内容	作業実施欄
1. 準備作業	貸与資料により、3次元モデル作成に必要な内容について確認・整理する。	○
2. 2次元データを3次元モデルへ変換	宇城農地整備事業 五丁川第2排水機場建設工事（仮称）及び宇城農地整備事業 五丁川第2排水機場ポンプ製作据付建設工事（仮称）の図面データ（CADデータ）を貸与 <b>【排水機場関係】</b> 図面枚数 59枚 内訳：土木 27枚 樋門 15枚 建築 17枚 <b>【ポンプ類関係】</b> 図面枚数 25枚	○
3. 3次元モデルの作成（レイヤの設定）	工事に必要なレイヤを設定するものとする。	○
4. 3次元モデルの作成（属性情報の設定）	レイヤの設定に基づき属性情報を掲載可能なように設定する。	○
5. 3次元モデルの試行	3次元モデルデータを発注者が用意する機器にインストールを行うとともに稼働確認を行う。	○
6. 国営土地改良事業等におけるBIM/CIM活用ガイドライン（案）第5編 ポンプ場編の改定内容の検討	工事の受注業者者の意見を参考に「国営土地改良事業等におけるBIM/CIM活用ガイドライン（案）第5編 ポンプ場編」の改定内容を検討する。	○
7. 点検とりまとめ	成果資料の点検、とりまとめを行い、報告書を作成する。	○